

農産物直売所出荷会員募集中



農産物直売所では出荷会員を募集しています。

【上野の里ふれあい市(上野)】

営業日時▶ 毎日 8:00~17:00
会費▶ 年会費 無料(入会費 10,000円)
☎ 上野の里ふれあい市事務所 ☎ 28-2017

【カナダふれあい朝市(金田)】

営業日時▶ 毎週 困 7:00~12:00
会費▶ 年会費 2,000円(入会費 無料)
☎ カナダふれあい朝市事務局 ☎ 22-0009

【方城特産館「ふくちの郷」(弁城)】

営業日時▶ 毎日(毎月第3 休 休業) 9:00~18:00
会費▶ 年会費 無料(入会費 5,000円)
☎ 方城特産館「ふくちの郷」事務局 ☎ 22-7474

recruitment

インフォメーション&ニュース in FUKUCHI

project

20歳のみなさんへの祝福と期待を込めて、福智町では次のとおり成人式を開催します。11月中旬ごろに案内状を送付しますが、転出などで町外に住民票がある人も福智町の成人式に参加できますので、生涯学習係までご連絡ください。

日時▶ 平成21年 11月12日(祝)
9時~受付 10時開式

場所▶ 地域交流センター(伊方)
対象▶ 昭和63年4月22日生
平成元年4月1日生

☎ 福智町教育委員会生涯学習係 ☎ 28-2046



平成20年度福智町成人式

町外にお住まいの新成人はご連絡ください

cultural treasure

伊方長浦にあるイヌマキとサカキが数地内のサカキが、文化財専門委員会の答申を受け、9月22日付で新たな町指定天然記念物に指定されました。これで町指定文化財は15件となりました。イヌマキは樹高約20mで胸高周圍2.83m、サカキは樹高約12mで胸高周圍1.25m、樹齢は定かではありませんが、いずれも樹勢がよく、樹形も良好な状態です。また、大きなものは県内でも珍しくその価値が認められました。今後も成長を見守り、保護していくことが必要とされています。



イヌマキ・サカキが新たに町指定文化財に

文化財専門委員会がイヌマキ・サカキを高く評価

福智の風

▶ 無隠元晦の師である中峰明本の肖像画。おだやかな表情ですが、よく見ると右手の小指がありません。中峰明本の師である高峰原妙は天目山の洞窟に「死関」という扁額を掲げて修行し、15年間こもったといひます。その門弟となる心構えを試した修行の入口…。ただ切り落としたのではなく、お灸を指にまいて火をつけたというから驚きです。無隠元晦が大悟するまでに重ねた厳しい修行、心身共に頑強だったことが想像できます。(長野)

▶ 一晩の間だけ花を咲かせる「月下美人」を撮影しました。めったに目にするのではない珍しい花がたくさん咲いたので、撮影をしながら思わず驚きの声を上げてしまいました。小学生のころにおばあちゃんの家で一度だけ見たことがあった月下美人。月に照らされた白い花を見ながら、花が大好きで優しかったおばあちゃんの笑顔を思い出していました。(昌太郎)

▶ 「悔し涙を流せる生き方を」。今回、特に印象に残った言葉です。何事も「それなり」だと、失敗は少ないかもしれませんが、得るものも無い。失敗や挫折はむしろチャンスで、その経験の差が後々の人間性などにも関わってくるのだとつくづく感じます。そのためには、これは成し遂げたい!という強い意志を持てる「何か」に出会うことが必要。出来るうちに色々なことに挑戦し、本当に自分のやりたいことが何なのかを見極めてほしいです。(日吉)

仲秋や露の中なる匠者通ひ
露の身の命ながらへ数異紗
歳時記は心のよすが秋灯下
雨上り羽根光らせて赤蜻蛉
すい〜とぶつかりもせず蜻蛉かな
百歳を生きて済まなや人の秋
木洩れ日に声透き徹る法師蟬
秋蝶の我が行く先を案内して
温暖化秋へなかく移らざる
一日ごと秋の気配の養生園
心地よき初秋の風に朝散歩

池田一歩選
大塚まさき
熊谷カツミ
大久保幸子
田口さとし
本島真知子
桑野 園女
柴田ヒサエ
皆川 和子
東 洋子
永末 公恵
宇野美奈子

福智町金田公民館俳句教室
岩井竜重選
稲の香に溺れて眠る古墳村
婆さまの破顔一笑稲の秋
秒針の音なく回り夜の長し
善と悪いづれも一字曼珠沙華
髪切つて色なき風を連れ歩く
爽やかに生きたし美術館巡る
霧に現れ雲にかくる岬を行く
口開けの果実酒の香や涼新た
寺町や由緒を凍と秋日澄む
ゲリラ豪雨暴れ回って厄日過ぐ

建部三由紀
松岡 萬枝
日比生利子
香月 雷子
永尾喜美江
長副美恵子
小川 雪
今井三千代
高山 玲子
花石かほる

群青の空へカンナの炎立つ
朝顔のこらへされずにこぼす雨
救急車通りしあと虫時雨
窓を打つ俺じき音や秋簾
逃げ足のときに素早き穴まどひ
平穏な厄日に感謝知仕事
手水舎に杖を小脇の秋過路
甘樫の丘ゆるやかにこぼれ萩
見送りの機上の人の夏終る
遅咲きの朝顔の欄愛ほしき
寝苦しや蛭蚓鳴く声地中より

池田一歩選
石橋 勝己
野村 鈴子
松本美穂
桑野 昌宜
白石 凡子
渡邊 一枝
尾崎 和子
藤井耿之介
杉 フジエ
倉石嘉代子
木村 誠一

四季の歌

心映の投句

俳句短歌教室の誦歌紹介

つぎつぎに七色のシャボン玉生る幼のほほのふくらみ弾めば
夕かげはグラランドの上に伸びのびてとほくかすめる英彦のさびし
語り部のつぎつぎに遊戯戦も戦後も次第に風化されゆく
夏の夜彩る花火ボンボンと孫にせかされてしばし見惚るる
山鴉いと騒がしき夏の朝鳥の世界も異変のおきしや

岡野富司生
佐竹喜久雄
白石 鶴代
加治 智子
白石 信子

ともしび短歌会短歌詠草